

特集

IPEの達成とこれから

「地域で学ぶ」を中心に

縦割りではない専門職のチーム医療の必要性については、もう長い期間訴えられ続けてきました。そうした医療を担う人材育成の方策として、2000年代中頃より、先進的な大学にて、他職種連携教育(IPE)の取り組みが始まり、2006年、日本保健医療福祉連携教育学会が設立しています。ちょうどIPEは胎動期を終え、発展期がきているといえるでしょう。専門職としてチーム医療に取り組むうえで、学生のうちに身につけるべき能力とは、そしてそのための教育とは、どのようなもののでしょうか。今特集では、草創期より工夫を重ねてIPEに取り組んできた大学を中心に、これまでの展開、そしてこれからの課題について紹介しています。IPEを通して看護学生はどのように学ぶことができるのか、IPEの実施が難しい学校にも、刺激になることを願っています。